



日本で日野にしかない

さじきまど
棧敷窓



日野祭の見どころのひとつ

日野祭ではお稚児さんや神輿、絢爛豪華な曳山等さまざまな見どころがありますが、棧敷窓がある風景もそのひとつです。棧敷窓は、渡御行列や曳山が通る道に面した家の塀に設けられた窓で、祭りの日には庭に棧敷を組んで、普段閉めている棧敷窓を開け、毛氈や



御簾をかけて中から祭りを眺めます。日野祭を楽しむためにつくられたものなので、もちろん日野独特のもので、

中からも外からも楽しむ

15年ほど前からは、日野祭当日と秋に『棧敷窓アート』が開催され、棧敷窓の中に地元作家の工芸作品等を展示し、棧敷窓の風景とともに楽しめます。ま



た、2月から3月には『日野ひなまつり紀行』が開催され、家の中に雛人形を飾って、棧敷窓越しの雛人形との出会いを楽しめます。

みんなで協力して残したい、

大切な財産

「歴史的なまちなみを次世代に残していくこと」を目的に活動されている日野まちなみ保全会により、西田礼三郎棧敷窓土塀修復の完成式が行なわれました。当会では西田邸の棧敷窓土塀の修繕のため、昨年の2月からクラウドファンディングで全国から寄附を募り、部材をできるだけ再利用しながら、修復を完了されました。

事務局長のモーア・オースティンさん(大窪1区)は「棧敷窓の1番の魅力は日野にしかないということ」と話され、代表の西村吉弘さん(大窪5区)は棧敷窓について、「日野祭の渡御を棧敷窓を通して見るのは情緒があり、歴史の重みを感じます。日野の歴史文化を象徴する大切にしていきたい大きな財産です」と話されました。

企業版ふるさと納税

ご寄附ありがとうございます

日野町では、平成29年度より「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」として、町外に本社のある企業の皆さまから日野駅再生のための寄附金を募集しております。

この度、当プロジェクトに賛同いただき、*企業版ふるさと納税により2社からご寄附をいただきました。

和信化学工業株式会社様

本社 静岡県静岡市清水区袖師町1460

寄附金額 10万円

株式会社向茂組様

本社 滋賀県東近江市蛇溝町231

寄附金額 100万円

いただいた寄附金は、日野駅の上りホーム待合所の上屋の改修のため、大切に活用させていただきます。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

*内閣府の認定を受けた事業に対して、特定の要件を満たした場合、高い率で税控除を受けていただけます。

問い合わせ先 ◆ 企画振興課 企画人権担当

☎ 07485216552

ひのっこだより



日野町内の幼稚園や小・中学校での子ども達の様子や特色ある取り組みの内容を紹介していきます。

南比都佐小学校

学校教育目標

学習がすき 友達がすき 自分がすき

南比都佐小学校は、自然に恵まれた歴史と伝統のある学校で、74名の子ども達が、元気に学校生活を送っています。

本校では地域の宝である子ども達を「すてきななんぴっ子」に育てるため学林活動や日野菜学習などの特色ある取り組みをすすめています。



すてきななんぴっ子



本校では、毎年すべての学年で日野菜を栽培し、日野菜漬けを作ったり、日野菜を活用して料理をしたりしています。また、毎年4年生が11月末ごろに日野菜の植え替えを行い、5年生の5月末ごろに種の収穫を行います。

収穫した種は校内音楽会の日などに地域の方々に販売もしており、皆さんにも喜んでもらっています。これからも連携を深め、地域に開かれた学校の実現をめざすとともに、小さな学校の大きな力を発揮したいと思っています。



必佐小学校

学校教育目標 知・徳・体バランスのとれた、たくましい児童の育成

力いっぱい やさしさいっぱい めあてしっかり コツコツと

必佐小学校は、明治7年創立の歴史と伝統のある学校です。現在児童数333名、職員数29名、教育目標に向かって教師、保護者、地域等の方がともに協力しながら取り組んでいます。

- 子どもの力を十分に発揮させる授業の工夫と学習習慣の確立
- やさしさ溢れる人権意識の向上
- 体力の向上を目指し、目標に向かって粘り強く取り組む態度の育成



友だちのノートから学ぶ ノート展

子ども達は素直で明るく元気いっぱいです。子ども達の豊かな学びと規律ある生活づくりのため、さまざまな活動をしています。授業では自ら考え進んで取り組む姿をめざし、よいノート作りのためのノート展や視写、朝読書、ファミリー読書など友だちと教え合い学びあう姿を求めています。ふるさと(地域)学習ではボランティアの方々から必佐校区のことを教えていただき、貴重な体験を重ねています。また、2学期からは、地域の団体の皆様に校門前に立って「見守りあいさつ運動」をしていただいています。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



日野菜を植えたよ。大きくなあれ



稲刈りのあと、おはぎづくり



地域を学ぶ ホイノポリ作り

*町では、居住地によって通学できる小学校区を定めていますが、特例により町内の他の小学校へ通学し、小規模校の特色をいかした授業を受けることができる「通学区域の柔軟化対応モデル事業」を行っています。詳しくは、教育委員会事務局学校教育課または各小学校へお問い合わせください。

問い合わせ先 ◆ 教育委員会事務局 学校教育課 ☎0748-52-6564